

～ ふるさととつながり、仲間とともに“在りたい未来”を創造する建屋っ子の育成 ～

# 建小 NEWS

養父市立建屋小学校 学校だより  
令和6年5月24日 No.4



## 「交通安全教室」 「命」について考える

5月2日(木)、南但馬警察署の佐藤さん、生活安全課の中島さん、建屋駐在所の富田さんを講師にお招きし、交通安全教室を開催しました。冒頭の校長挨拶の中で、全国的に小学校では男子児童の事故が多いこと、曜日では水曜日、時間帯では夕方に事故が多く発生していることを伝え、納得した顔と意外そうな顔が半々でした。

まずは、佐藤さんから信号機や道路標識について講話をしていただきました。「横断歩道を渡るとき、信号が黄色になったらどうするのか。急いで渡るのが、止まるのか。」と尋ねられると、「赤になるので急いで渡る。」と答えた児童がいましたが、「黄色信号は止まれの合図である。」と説明を受けると、素直に驚く様子も見られました。後半は低学年と高学年に分かれてDVDを視聴し、「交通事故から命を守るための行動」について学習しました。・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――



次の時間は、3・4年生の「自転車教室」でした。自転車点検の仕方やポイントについて教わった後、運動場で走行実習を行いました。信号機のある交差点や一時停止の交差点、踏切では、緊張しながらも真剣な表情で自転車を走らせる姿が見られました。自転車で遊ぶ習慣がないためか、乗り慣れない児童もいましたが、何度か練習するうちに自力走行できるようになりました。被害者にも加害者にもなり得る自転車を「安全に楽しく」乗りこなせるようになるためには、学校と家庭が連携して、

ヘルメット  
着用の義務  
や交通ル  
ールにつ  
いて指  
導して  
いく必  
要があ  
ると考  
えて  
いま  
す。

「命は一つ」 交通ルールをしっかりと守り、自分の命も他人の命も守れる子どもに!

## 「忠魂碑」の前で「平和」について考える

5月9日（木）、藤原弘さん（建屋在住）を講師にお招きし、6年生が旧建屋小学校跡地で平和学習を行いました。事前学習をもとに終戦前後の建屋校区の状況や暮らしについて質問をし、理解を深めました。忠魂碑の前で伺った藤原さんのお話は、平和な時代に生きる児童にとって信じがたい衝撃的な内容だったようで、振り返りの感想からは、「二度と戦争をしてはいけない」という強い決意が感じられました。



◆弘さんが9歳で、小学校4年生の時、その時に自分だったらと考えると怖いんです。防空壕があると聞いて行ってみたいと思ったし、空襲警報のサイレンも聞いてみたい。弘さんのいとこが14歳の若さでお亡くなりになっていて、本当に戦争はだめだなと思った。弘さんのおっしゃった「戦争をした国はどちらも敗者」の言葉がすごく心に残った。弘さんの気持ちが分かった気がする。（森山 結月）

◆焼夷弾が雨のように降ってきて、「バーン」と爆発して、3軒ぐらゐは家が燃えてしまうくらいの威力があるなんて思わなかったです。アメリカ軍が「ハロー」とやって来たというのはびっくりしました。私だったら本当に怖いんです。戦争ってそんなに簡単にやっていいの？人の命を落とすために。日本のために勇敢に戦った人たちに、私もありがとうと言います。私たちは平和な日本に生まれてきて、この話を次の世代につないでいきます。（田中 明佳）

5月30日（木）から2日間、6年生7名は広島市を訪問し、原爆ドームや平和公園、原爆資料館等を見学します。碑めぐりガイドの上山さんと一緒に公園内を散策し、さらに学びを深めてくれることでしょう。

## たきのやっ子が今年も行く！「建屋探訪」



3年生10名が訪れたのは、「建興寺」と小学校発祥の地。今年も吉田博治さんに建屋の歴史についてたくさん教えていただきました。（5/21）

来週は1・2年生が生活科で、地域探訪に出かけます。

### ■スポーツテスト（5/10）



★本校HPのトピック  
スで、情報発信中！

### ■資源リサイクル活動と5年生学年PTA行事（5/12）



### ■ピッコロ劇団ワークショップ（5/14）



### ■4年生飛行機体験（5/17）



笑顔輝く学校に！